

今年度の主な取組みの進捗状況

普及・啓発

●「ユニバーサル都市・福岡」児童向け副読本の改定【総務企画局】

・主に小学4年生向けの、ユニバーサルデザインを学ぶための教材（H26年度制作）をデジタル化するとともに、全面改定

【改定委員会】

- 第1回 8/24実施
- 第2回 10/19実施
- 第3回 12/27実施(予定)



・R4年度、改定版のプロトタイプを作成し、R5年度いくつかの小学校で試験運用を行い、現場で出た意見をフィードバックして修正し、R6市内全域で改定版運用開始

●4コマ漫画による普及啓発【総務企画局】

・ユニバーサルデザインに関する知識が無くても楽しめる4コマ漫画を用いて、関心がない市民にも分かりやすい普及啓発を実施



▲天神サイト掲載



▲ライオン広場で展示イベント開催



▲西日本新聞掲載

●「ユニバーサル都市・福岡PRサポーター」による普及啓発【総務企画局】

・PRサポーターに任命したバリカタキッズが、引き続き、市内のユニバーサルな場所などを取材し、その様子を様々な広報媒体で展開

・R4年度は、Uni-Voiceやホームページファシリティ機能など、市が提供するサービス等を対象に撮影（現在動画編集中心）

・「#ユニバーサル都市福岡」投稿キャンペーンの開催（～1/15）



●福岡版ユニバーサルマナー検定（講座）の実施【総務企画局】

・高齢者や障がい者への接し方等について、市内の身近なユニバーサルデザインの事例を取り入れた福岡市オリジナルの講座を実施

- 第1回 8/28実施 受講者26名 ※対面
- 第2回 9/25実施 受講者25名
- 第3回 10/30実施 受講者31名

受講者計82名（詳細は取りまとめ中）



子ども

●子ども習い事応援事業【こども未来局】R4.7開始

・子どもの将来が生まれ育った環境に左右されず、個性や能力を伸ばし、自己肯定感を育めるよう、電子クーポンを交付し、習い事の費用を助成

・対象となる子どもは、生活保護又は児童扶養手当受給世帯の小5～中3（R4.10末対象者数：約8,000人、R4.10分クーポン利用者数：約1,800人）



●インクルーシブな子ども広場【住宅都市局】

・あらゆる子どもが自分らしく遊ぶことができる遊び場（インクルーシブな子ども広場）の整備に向けた検討を実施

【実証実験@舞鶴公園】

R3年度の実証実験をアップデートして実施

開催期間：R4.7.30～11.30（約4ヶ月）

※遊び体験イベント（9/3）、ワークショップ（10/16・11/10）、行政関係者向け勉強会（11/16）



【整備指針検討委員会】

- 第1回 3/28実施
- 第2回 8/31実施
- 第3回 12/12実施



・委員会の議論を踏まえ、整備指針を策定予定（R5.1）
・整備指針を基に設計、公園へ設置予定（R6.3）

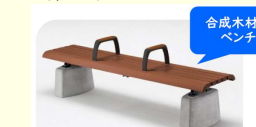
▲遊び体験イベントの様子

障がい者・高齢者

●ベンチプロジェクトの推進【福祉局・道路下水道局・港湾空港局】

・誰もが外出しやすいまちを目指し、市内全域へベンチ設置を推進

・R4年度は、市管理道路における設置可能なすべてのバス停にベンチを設置（R4.9開始、約350か所設置予定）



合成本材製ベンチ

性的マイノリティ

●ふくおかLGBTQフレンドリー企業登録制度【市民局】R4.10開始

・性的マイノリティの支援に取り組む企業等を登録し、その情報を広く発信することにより、企業等を応援するとともに、市民や社会の関心・理解を深める登録制度の開始

- ・登録証交付式開催（11/6）
- ・登録企業数：6社（12/21時点）

